


# 潤いファイル 使い方ガイドブック (素案)



このガイドブックは、特別な支援を必要とする子どもの支援において、本人・家族や支援者との連携を円滑にするためのコミュニケーションツールである「潤いファイル」の使い方を定めたものです。本人・家族、幼稚園・保育園の先生、学校の先生、利用している福祉サービス事業所の職員など、本人やその支援をする人たちが利用します。



さいたま市



## 1. 潤いファイルとは

- ★特別な支援を必要とする方の出生から成人後の生活に至るまで、ライフステージに渡る成長の様子を記録します。
- ★各支援機関（教育・医療・福祉・保健・労働）で受けてきた支援計画や内容をまとめます。
- ★成長の記録や支援内容をまとめておくことで、本人や家族、関係者が情報共有を図り、連携をスムーズにするためのツールです。

＜潤いファイルを使うとこんな良いことがある＞

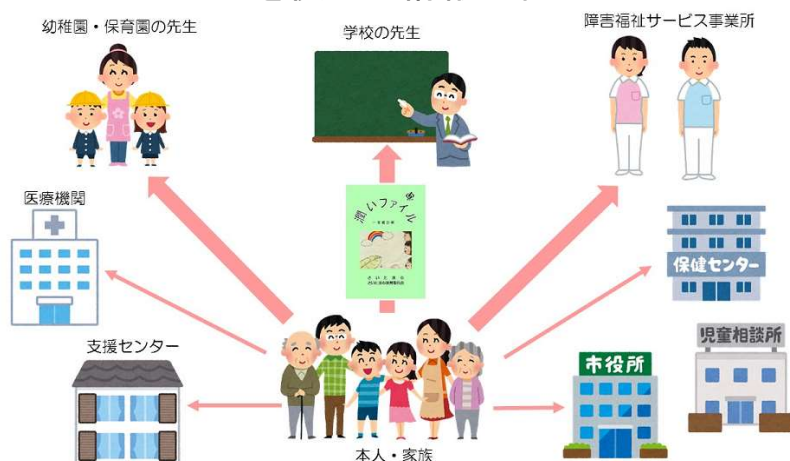
- ・これまでの成長や生活の様子が1冊にまとまっている！“なんでもファイル”
- ・これを見れば、本人、家族、関係者が同じ情報を共有できる！
- ・これを使えば、それぞれの支援機関に説明がしやすくなる！
- ・支援計画、心理検査の結果 etc…しまう場所が決まって整理しやすい！

⇒本人・家族にとってより良い支援に繋がっていく！

## 2. 潤いファイルの目的

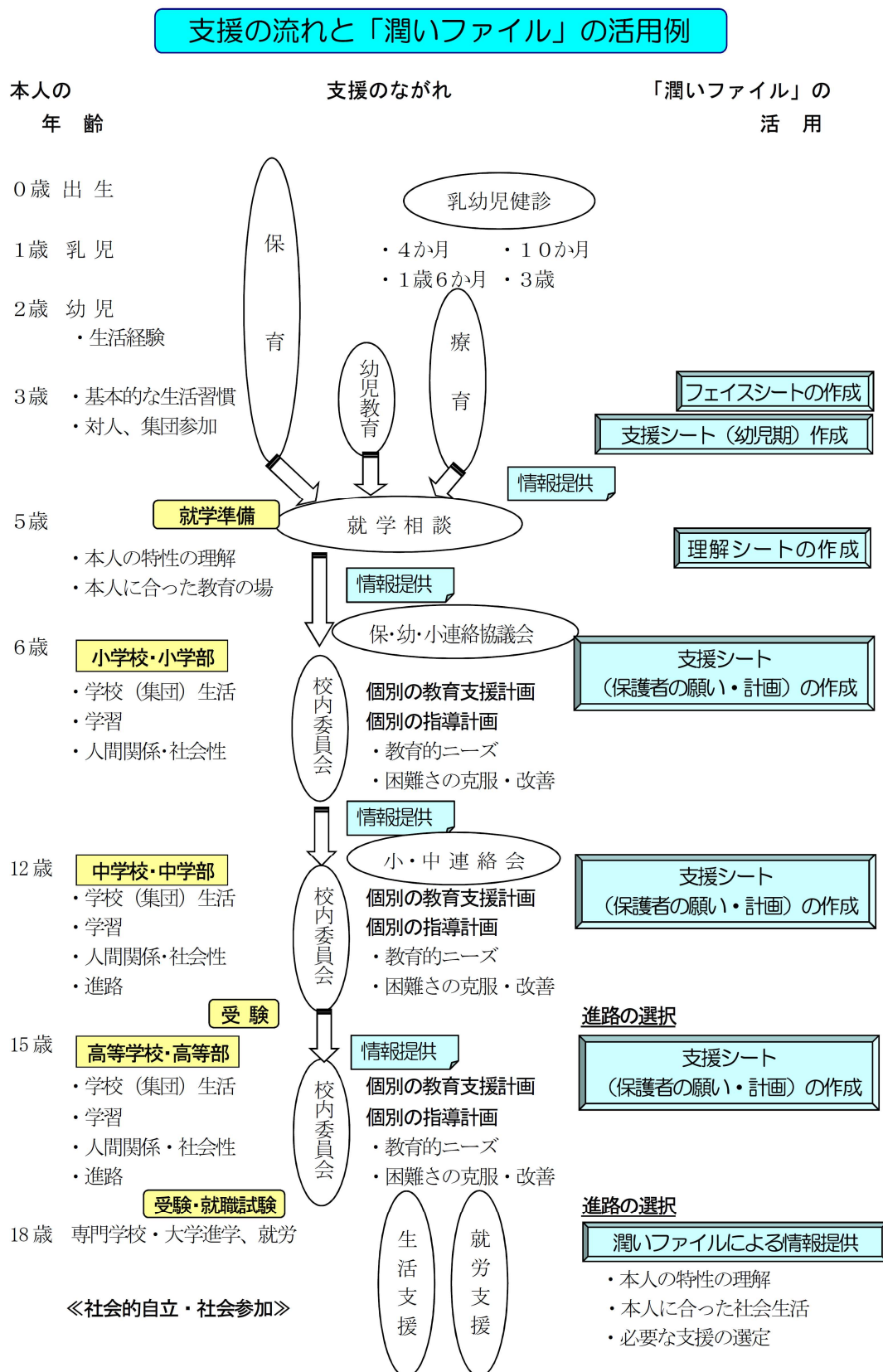
- ①潤いファイルを通じて、本人に関わる全ての人が情報共有すること。
- ②本人・家族・関係者が同じ目的と情報を持つことで、より良い支援をしていくこと。
- ③就学から成人後の生活に至るまで、ライフステージに渡り使用していくことで、一貫性のある支援を実施し、その人らしい自立や社会参加につなげていくこと。

## 3. 潤いファイルを使った情報共有



- ・潤いファイルは、本人についての情報が詰まった“なんでもファイル”です。
- ・学校の先生等や障害福祉サービス事業所の職員、市役所などの公的な支援機関や医療機関など、周囲の支援者に自身の障害や必要な支援・配慮などを説明するには、潤いファイルを使いながら話すと伝えやすくなります。

## 4. 支援の流れと潤いファイルの活用例



## 5. 潤いファイルの内容

潤いファイルには、以下の3つのシートが備え付けられています。

No.	シート名	内容	主に記入する人
1	フェイスシート	本人のプロフィールや相談・支援の履歴を記録するシート	本人・家族
2	理解シート	本人の特性を理解し、生活の中で必要なサポートを考えるシート	本人・家族・保育園や幼稚園、学校の先生
3	支援シート	本人の特性に合った支援を計画するシート	本人・家族・保育園や幼稚園、学校の先生

※支援シートについては、特別支援学級、特別支援学校等で使用している様式があれば、その様式で作成して、ファイルにとじてください。

## 6. 潤いファイルの使い方（本人・家族編）

### （1）基本的なルール

- ・潤いファイルは、本人又は家族が管理します。
- ・支援機関等に潤いファイルを提示するかは、本人又は家族が決めます。
- ・もともととじこんであるフェイスシート、理解シート、支援シートだけではなく、心理検査の結果表や個別の教育支援計画・個別の指導計画、服薬の情報、福祉サービスの利用計画や放課後等デイサービスの支援計画書など、それぞれの支援機関と情報共有したいものはファイルしておきましょう。
- ・特別教育相談センターで教育支援を受けている方は、過去の支援情報等を記入したり、資料をファイルにとじてください。

### （2）各シートの記入方法

※潤いファイルの記入例 P1～P4 と併せてご覧ください。

#### <1. フェイスシート>

- ・フェイスシートは、本人のプロフィールと成長の記録をまとめたものです。家族が記入します。母子手帳を参考に記入しましょう。
- ・フェイスシート P4 の【診断】【服薬】については、医療機関の担当者に確認しながら記入します。
- ・フェイスシート P4 の【実施検査】は、心理検査（知能検査や発達検査など）の受検状況を記載します。検査を実施した機関に確認して記入します。また、結果表と一緒にファイルしておきます。

## <2. 理解シート>

- ・理解シート P1 は、家族が記入します。家族としての願い、家族から見た本人の好きなこと・苦手なこと、サポートしてほしい内容など、日常生活の中で感じていることを記入します。難しい場合は、就学相談の際に、相談したり、幼稚園や保育園、学校の先生に相談しながら記載しましょう。
- ・年度が変わる際（担任が替わる際）にも幼稚園や保育園、学校等相談し、作成してください。
- ・【就学相談の記録 A】、【就学相談の記録 B】は、特別支援教育相談センターでの就学相談の際に、担当者と一緒に作成します。

※【就学相談の記録 B】は、障害の種別に応じて使用します。

## <3. 支援シート>

- ・「支援シート 幼児期」は、幼稚園や保育園に入園したときや潤いファイルを使い始めたときに担任の先生と作成します。【保護者の願い】は、幼児期の生活において、本人がどのように成長してほしいのか、家族の思いを記入します。
- ・小学校入学後以降の「支援シート」は、個別の教育支援計画と個別の指導計画をもとに学校と相談して作成します。日常生活や学校生活における目標やそのためにどのような支援を行うか、どのような成果が見られたかを記載します。
- ・年度が変わる際（担任が替わる際）にも幼稚園や保育園、学校等相談し、作成してください。
- ・「課題・目標」、「支援・手立て」の欄は、担任の先生などと相談しながら、どのような目標を立てて、そのためにどんな支援を行うのかを記載します。
- ・「支援・手立て」の欄は、支援内容の見直しを行ったときなど、必要に応じて書き加えていきます。
- ・計画に基づいた支援に対して、どのような変化が見られたかを「結果」の欄に記載します。良い変化があったときだけでなく、変化がなく、計画や支援を見直す必要があるときにも記載します。卒園・卒業の時期など、限定した時期ではなく、いつでも記載することができます。
- ・【個別の支援・合理的配慮】の欄は、幼稚園や保育園、学校生活において、障害の特性に応じて行った配慮・支援を記載します。わからない場合は、先生方と一緒に確認してください。
- ・支援シートは、全ての項目を埋める必要はありません。本人の障害特性に応じて、必要な項目だけ記入します。
- ・シートが足りない場合は、さいたま市ホームページからダウンロードすることができます。

（さいたま市ホームページ→健康・医療・福祉→福祉→障害のある方→障害者福祉に関する市の施策など→障害者福祉→潤いファイルについて）

<https://www.city.saitama.jp/002/003/004/003/001/p008954.html>

- ・この支援シートは、個別の教育支援計画と個別の指導計画に代えることができます。



### （３）潤いファイルを使った情報共有

小学校・中学校・高等学校に入学したとき、担任の先生が代わったとき、利用している福祉サービスの事業所が変わったときなど、本人や家族を取り巻く環境や支援者に変化があったときは、潤いファイルを使って、自ら障害についてや必要な配慮・支援について説明を行うことが大切です。

本人自身や家族が障害の特性を理解し、必要な配慮・支援を求めることは、より良い生活に繋がります。今後の生活において、困りごとがあったときに SOS を発信し、支援を求めていく力はとても大切なことです。

## ７．潤いファイルの使い方（保育園・幼稚園の先生編）

### （１）基本的なルール

- ・潤いファイルは、本人又は家族が管理します。
- ・支援機関等に潤いファイルを提示するかは、本人又は家族が決めます。
- ・作成に当たり、協力を求められた際には、情報提供等、作成のご協力をお願いします。
- ・個人情報の取扱いについては、十分な配慮をお願いします。
- ・潤いファイルには、もともととじこんであるフェイスシート、理解シート、支援シートだけではなく、心理検査の結果表や個別の教育支援計画・個別の指導計画、服薬の情報、福祉サービスの利用計画や放課後等デイサービスの支援計画書など、本人や家族がそれぞれの支援機関と情報共有したいものをファイルしています。そういった情報を含めながら、支援に役立ててください。

### （２）潤いファイルの作成時期

潤いファイルは、本人やご家族が利用したいと思ったとき、幼稚園や保育園の先生から見て、特別な支援が必要であると感じたとき、就学相談を始めたときなど、潤いファイルが必要だと思ったタイミングでいつでも使い始めることができます。

特に、幼稚園や保育園の先生から見て、日常生活や就学に向けて特別な配慮が必要であると感じたときには、ご家族に潤いファイルの使用をお勧めいただけますと幸いです。

### （３）各シートの作成方法

フェイスシートや理解シートは主に本人や家族が作成しますが、特に理解シートの作成に当たっては、普段の園生活における様子を伝えたり、家族が迷っているようであれば、一緒に考えながら作成していくことも有効です。

#### ＜支援シート 幼児期＞

- ・支援シートは、本人の園生活において、障害の特性に合わせてどのような支援が必要となるのかを考え、計画を立てるシートです。
- ・【保護者の願い】の欄は、家族が幼稚園・保育園生活において、どのような成長を遂げ

てほしいのか、その思いを記入します。

- 年度が変わる際（担任が替わる際）にも幼稚園や保育園、学校等相談し、作成してください。
- 【幼児期】の欄のうち、「課題・目標」「支援・手立て」の欄は、入園したとき又は潤いファイルを使い始めたときに記入します。
- 「支援・手立て」の欄は、支援内容の見直しを行ったときなど、必要に応じて書き加えていきます。
- 「結果」の欄は、計画に基づいた支援に対して、どのような変化が見られたかを記載します。良い変化があったときだけでなく、変化がなく、計画や支援を見直す必要があるときにも記載します。卒園の時期など、限定した時期ではなく、いつでも記載することができます。
- 【個別の支援・合理的配慮】の欄は、障害の特性に応じて、特別に行った配慮・支援を記載します。

#### （４）小学校への引継ぎ

小学校への引継ぎは、各施設から行うこととなるかと思いますが、学校の先生や放課後等デイサービスの職員などにも共有したほうが良いと思う情報は、家族と相談の上、ファイルにとじておくの良いでしょう。

〔例〕・幼稚園や保育園で特に気を付けていたこと

- ・園生活で見つけた長所やこれから頑張りたいこと、得意や苦手など
- ・障害特性に合わせた関わり方のポイント（絵で手順を示すと良い など）

※幼稚園や保育園からの引継ぎだけではなく、家族自身が小学校に潤いファイルを使いながら説明するよう、声掛けもお願いします。 本人や家族が障害について説明したり、それに対する配慮を求められるようになることも、とても大切です。

## 8. 潤いファイルの使い方（学校の先生編）

### （１）基本的なルール

- ・潤いファイルは、本人又は家族が管理します。
- ・支援機関等に潤いファイルを提示するかは、本人又は家族が決めます。
- ・作成に当たり、協力を求められた際には、情報提供等、作成のご協力をお願いします。
- ・個人情報の取扱いについては、十分な配慮をお願いします。
- ・潤いファイルには、もともととじこんであるフェイスシート、理解シート、支援シートだけではなく、心理検査の結果表や個別の教育支援計画・個別の指導計画、服薬の情報、福祉サービスの利用計画や放課後等デイサービスの支援計画書など、本人や家族がそれぞれの支援機関と情報共有したいものをファイルしています。そういった情報を含めながら、支援に役立ててください。

## （２）潤いファイルの作成時期

小学校入学前年に就学相談を受けている方は、小学校入学の時点ですでに持っている場合もありますが、学校の先生から見て、日常生活や学習活動において特別な配慮が必要であると感じたときには、ご家族に潤いファイルの使用をお勧めいただけますと幸いです。

潤いファイルは、就学相談を受けたり、特別支援学級などに在籍する児童・生徒だけでなく、普通学級に在籍する児童・生徒についても、本人や家族が利用したいと思ったとき、周囲の支援者が特別な配慮が必要であると考えたときに、いつでも使い始めることができます。

## （３）各シートの作成方法

フェイスシートや理解シートは主に本人や家族が作成しますが、特に理解シートの作成に当たっては、普段の学校生活における様子を伝えたり、家族が迷っているようであれば、一緒に考えながら作成していくことも有効です。

### ＜支援シート＞

- ・支援シートは、「小学校・小学部 低学年」、「小学校・小学部 中学年」「小学校・小学部 高学年」、「中学校・中学部」、「高等学校・高等部」の５種類あります。
- ・「家庭生活」「学習」「生活・行動」「社会性・対人関係」に加えて、中学校以上のシートでは「進路」の項目があります。障害の特性に合わせて、必要な項目について記載してください。
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画をもとに本人や家族と相談して作成します。「課題・目標」や「支援・手立て」の欄には、日常生活や学校生活における目標やそのためにどのような支援を行うかを記載します。
- ・年度が変わる際（担任が替わる際）にも幼稚園や保育園、学校等相談し、作成してください。
- ・「支援・手立て」の欄は、支援内容の見直しを行ったときなど、必要に応じて書き加えていきます。
- ・「結果」の欄は、計画に基づいた支援に対して、どのような変化が見られたかを記載します。良い変化があったときだけでなく、変化がなく、計画や支援を見直す必要があるときにも記載します。卒業の時期など、限定した時期ではなく、いつでも記載することができます。
- ・特別支援学級や特別支援学校で使用している様式があれば、その様式で作成したり、個別の教育支援計画や個別の指導計画に代えることも可能です。その場合は、ファイルの該当ページに挟んでください。

## （４）進路先への引継ぎ

進路先への引継ぎは、各学校から行うこととなるかと思いますが、進学先の先生や福祉サービス事業所の職員などにも共有したほうが良いと思う情報は、家族と相談の上、



ファイルにしておくとい良いでしょう。

※学校からの引継ぎだけではなく、本人や家族自身が進路先に潤いファイルを使いながら説明するよう、声掛けもお願いします。

本人や家族が障害について説明したり、それに対する配慮を求められるようになることも、とても大切です。

※高等学校卒業後に使用するものとして、成人版の潤いファイルがあります。

詳しくは「１０．高等学校卒業後の生活での活用」へ。

## ９．潤いファイルの使い方（障害福祉サービス事業所の職員編）

### （１）基本的なルール

- ・潤いファイルは、本人又は家族が管理します。
- ・支援機関等に潤いファイルを提示するかは、本人又は家族が決めます。
- ・作成に当たり、協力を求められた際には、情報提供等、作成のご協力をお願いします。
- ・個人情報の取扱いについては、十分な配慮をお願いします。
- ・潤いファイルには、もともととじこんであるフェイスシート、理解シート、支援シートだけではなく、心理検査の結果表や個別の教育支援計画・個別の指導計画、服薬の情報、福祉サービスの利用計画や放課後等デイサービスの支援計画書など、本人や家族がそれぞれの支援機関と情報共有したいものをファイルしています。そういった情報を含めながら、支援に役立ててください。

### （２）潤いファイルの作成について

- ・各シートは、本人や家族、幼稚園・保育園の先生や学校の先生が作成するため、障害福祉サービス事業所の職員が作成する場面はあまりありません。
- ・本人や家族が作成するにあたって、普段の様子を聞かれたり、意見を求められることがありますので、ご協力をお願いします。
- ・本人や家族から、各施設での支援計画などを求められることもありますので、提供可能なものは、ファイルにとじるためにご提供いただけますようお願いします。

### （３）潤いファイルの活用について

潤いファイルにとしてある情報は、本人や家族が学校や事業所、各支援機関等などと共有したいと思っている情報です。

閲覧する機会がある場合は、普段の支援に活用できる情報を確認し、役立ててください。

## 10. 高等学校卒業後の生活での活用

「潤いファイル」の成人版では、高等学校卒業後の生活支援や就労支援につなげ、本人の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援することをねらいとしています。

高等学校までの潤いファイルは、主に保護者が作成、管理することが多いですが、成人版では、本人が自ら、自らの生活や考え方、障害についてのとらえ方について振り返ったり、生活リズムをチェックするような様式を含み、これからどのような生活をしていきたいのか、そのためにどのような目標を立て、取り組んでいくのかを整理するものとなっています。

さいたま市障害者総合支援センターのホームページからダウンロードすることができます。

（さいたま市ホームページ→健康・医療・福祉→福祉→障害のある方→障害者福祉に関する市の施策など→障害者の生活支援→「潤いファイル（成人版）」の活用について）

<https://www.city.saitama.jp/002/003/004/003/003/p037225.html>

## 11. おわりに

さいたま市が発行している潤いファイルは、「フェイスシート」、「理解シート」、「支援シート」の3つのシートで構成されており、とてもシンプルなものです。

だからこそ、障害福祉サービスの利用計画や障害者手帳の写しを挟むなど、ひとりひとりが使いやすいようにカスタマイズすることで、ご本人や家族の拠り所となり、支援者とのスムーズな連携に繋がります。

この潤いファイルが、皆さんが自分らしく、健やかに生活ができることの一助となれば幸いです😊。